

平成30年度 さいたま市立三橋中学校 学校だより



架け橋

第2号

(平成30年5月1日発行)

ホームページ: <http://mihashi-j.saitama-city.ed.jp/>

E-mail: mihashi-j@saitama-city.ed.jp

学校教育目標 : ゆたかに・かしこく・たくましく

みんなが元気になるために

校長 永岡 良規

桜の木々もすっかり柔らかな緑色に姿を変え、新緑の季節を感じられるようになりました。新たな目標をもってスタートした新年度も1ヵ月が経ち、1年生も部活動に本入部して、本格的に中学校生活が始まりました。ゴールデンウィークが終わると、学校総合体育大会まで残り約1ヵ月となり、運動部は最後の調整という大切な時期を迎えます。

クラスの方も少しずつ新しい仲間になれ、日常の会話の中で友達の良さを知り、少しずつ友情の深まりを感じている人もいることでしょう。しかし、残念なことに私たちの日常生活は楽しい事やうれしい事ばかりではありません。普段元気であっても、ちょっぴり浮かない顔になったり、楽しい会話をしていても笑顔が続かなかったり、ふと気が付くとさびしい思いにかられたり、と多かれ少なかれ悩みを抱えている人も少なくないと思います。

「トム・ソーヤーの冒険」などで有名なアメリカの作家であるマーク・トウェインさんは「自分を元気づける一番よい方法は、誰かほかの人を元気づけてあげることだ。」と言っていました。少し元気をなくしている人、この言葉を実践してみてもうどうですか。励ました友達が笑顔や元気を取り戻せば、きっとうれしい気持ちになるはずです。自分が元気を与えたことで、友達も自分も元気をもらえる。すばらしいことですね。特に何かをしなくても、「どうしたの」と声をかけてみる、話を聞いてあげる、そばにいてあげる、そのことが相手にとって大きな価値あることになる。相手にとってものすごく意味のあることになる。そして、さらにその行為や気持ちによって、自分自身も価値ある存在であることになる。

人は一人では生きてはいけません。社会も学校も同じです。互いに他の人を思いやり、元気を与えたり、元気をもらったりできる学校。みんなが気遣いのできる温かい学校。みんなの力で三橋中をそんな学校にしていきたいと思います。